

# TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の活動状況

令和2年7月12日 12:00時点

- 九州地方整備局を中心として全国の地方整備局等のTEC-FORCEを被災地に派遣
- 本日335人のTEC-FORCEが排水活動、被災状況調査、リエゾン・JETT(気象庁)による自治体支援を実施。  
降雨時の排水に備え、排水ポンプ車57台(うち九州54台)を現地へ配備。
- 引き続き、球磨村をはじめ被災地において、河川、道路、土砂災害等の被災状況調査を実施(うち国道219号被災調査に68人を派遣)。

〔派遣人数 のべ2,401人・日  
災害対策用機械 のべ777台・日〕

## TEC-FORCEによる被災状況調査

### ○現地踏査等による被災状況調査の実施

現地踏査等により、地方公共団体が管理する河川、砂防、道路等の公共土木施設等の被災状況を実施し、復旧計画を検討。



7月9日 河川班による現地調査  
(熊本県芦北町)



7月9日 砂防班による現地調査  
(熊本県八代市)

## 路面清掃車等の活動状況

### ○甚大な被害を受けた地域の生活再建の支援

路面清掃車により路面に堆積した粉塵を除去。生活再建を支援。



7月9日 路面清掃車で粉塵除去  
(熊本県人吉市)



7月9日 側溝清掃車で粉塵除去  
(熊本県人吉市)

## 国道219号の早期復旧に向けて

### ○甚大な被害を受けた国道219号の早期復旧

国道219号の道路啓開を迅速に進めるため、TEC-FORCEが現地調査を実施。調査結果に基づき、道路啓開方針を検討し、熊本県の実施する道路啓開を支援。



7月9日 熊本県と現地で道路啓開方針を検討  
(熊本県球磨地域振興局)



7月10日 道路啓開のための現地調査  
(熊本県球磨村)



地元建設業者とともに国道219号を24時間体制で道路啓開(熊本県球磨村)  
対象延長 約43kmのうち約17km(約40%)の道路啓開完了(7月11日時点)

